

「がんばれ！ あゆこ～！」

経済学部・経済学研究科同窓会
一般社団法人キタン会
会長 鈴木武

鈴木亜由子さんの東京オリンピックマラソン出場内定を、キタン会員一同と共に大いに喜んでいました。

私個人としても、学生時代からの亜由子さんの活躍ぶりを陰ながら応援してきました。今も思い出に残る 2016 年の都道府県対抗女子駅伝は、私は TV の前で観戦していましたが、4 位からの大逆転優勝には興奮の余り万歳三唱をしていました。



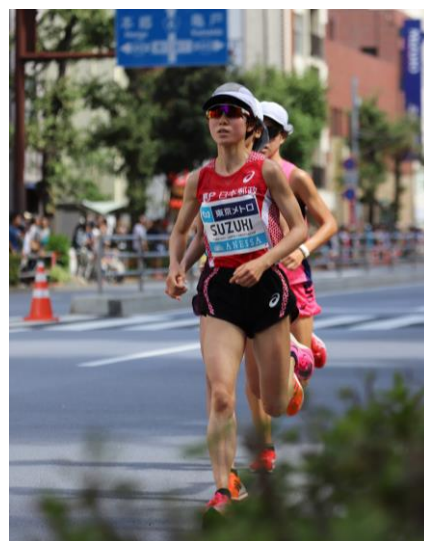
9 月 15 日の MGC は、キタン会も東京キタン会と合同で応援団を結成することとし、綿密な計画の下、濃緑の地に鈴木亜由子の白抜き色の幟 50 旗を用意し、70 名の応援団を結成しました。まずは 14 日に神田の学士会館に集結しての前夜祭で大盛り上がり、応援場所ごとに 5 箇所 (A・神宮球場前、B・神田須田町、C・日本橋、D・浅草雷門、E 芝公園) に組分けし、応援は一斉に「あゆこ～！」コールで行うことになりました。

当日、早朝からの場所取り段階の様子は朝日新聞のデジタル版でも報じられました。

<https://www.asahi.com/articles/ASM9H4K07M9HUTIL00F.html>

私は A 組で、スタートから約 300m 地点で応援しました。先にスタートした男子選手の通過後、まずは応援練習と、我々 30 名ほどの他に、向い側の一般客にも呼びかけ共に一緒に大声で「あゆこ～！」コールを行いました。

そして、いよいよ女子選手がスタートし、前を通過するときには、また全員で「あゆこ～！」コール。サングラスの奥の視線がチラットこちらに向くのがわかりました。周辺には日本郵政、豊橋体協の応援団も大勢来ていましたが、声の大きさでは我々が一番だったと思いました。



ゴールを待つ間、途中経過はスマホのラジオ放送でチェックし、終盤は何とか何とか2位キープを念じて待ちました。そして前田選手の通過後しばらくして現れた鈴木選手と後を追う小原選手は、共に呼吸や足の動きはかなり苦しそうでしたが、我々の「あゆこ〜！」コールの大声援に元気づけられたか、鈴木選手の走りも変わり、まずは逃げ切れると確信しました。2位でゴールインをラジオで確認、A組全員で万歳！万歳！を唱えました。

その後、神田須田町（B地点）の打上げ会場に集合し、全員で祝杯を挙げてまたまた大盛り上がりとなりました。



各応援地点では、当日の飛入り参加や家族同伴も多く、総勢では100名ほどになっていたようです。又、この場で来年本番の応援団結成も即決まりました。そして、亜由子さんを共に応援することを通じて、同窓の絆も一層強まったことを確信しました。

帰宅後には、現場では見られなかった全コースをビデオで観戦し、我々の他4地点の応援風景もしっかりと写っていることも確認して、再度感動を味わうことができました。

名古屋大学経済学部の歴史は1920年創設の名古屋高等商業学校に始まりますが、その間には、故・清川正二（名高商10回生）大先輩が、2年生在学中の1932年にロス・オリンピックの100m背泳ぎで金、36年のベルリンで銅メダル、そして晩年にはIOC副会長も務められたという栄光の歴史もあります。

2020年8月2日には清川先輩に続く鈴木亜由子さんの大活躍を期待すると共に、11月15日には経済学部100周年を一緒に祝いたいと願っています。

「がんばれ！ あゆこ〜！」

